

《記入例② 退職により、未徴収税額を普通徴収に切り替える場合》

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

御注意
3 2 1
黒のボールペン又はブルーボールペンで記入してください。欄の枠内に「1」と記入するときは、新しい勤務先において特別徴収継続の場合がある場合には、「1」を記入してください。欄には必要事項を記載してください。欄には、一括徴収することが義務づけられています。

令和××年○○月△△日 提出 常総市長 殿		所在地 〒012-3456 ○○県××市△△1-2-3	1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度 ※市町村処理欄	
フリガナ イバラキ イチロウ		フリガナ カブシキガイシャ マルバツショウジ	特別徴収義務者 指定番号 12345	
氏名 茨城 一郎		氏名又は名称 株式会社 ○×商事	宛名番号 00025	
生年月日 昭和50年1月1日		個人番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	所属 人事課人事労務係	
個人番号 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		異動年月日 R××年 1月 8日	氏名 特徴 花子	
受給者番号 108		異動後の住所 ○○県××市△△3-2-1	電話 000-000-0000 内線(123)	
1月1日現在の住所 ○○県××市△△3-2-1		(ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000 円	(イ) 徴収済額 35,600 円	(ウ) 未徴収税額(ア)-(イ) 104,400 円
異動後の住所 ○○県××市△△3-2-1		異動の事由 1. 退職 2. 転勤 3. 休職・長欠 4. 死亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他 事由・理由		
異動後の未徴収税額の徴収方法 3 1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収(本人納付)		右から番号を記入		

1. 特別徴収継続の場合

(特別徴収義務者) 特別徴収義務者 指定番号 所在地 フリガナ 氏名又は名称	新規 8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。 (ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分) (イ) 徴収済額 35,600円(6月から8月分) (ウ) 未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分) ↑ 普通徴収税額	新しい勤務先へは、月割額_____円を _____月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。
---	---	---

2. 一括徴収の場合

理由 右から番号を記入 1. 異動が令和××年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和××年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定額(上記(ウ)と同額) _____円	左記の一括徴収した税額は、 _____月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
--	---------------------------	---

3. 普通徴収の場合

理由 右から番号を記入 1. 異動が令和××年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和××年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため	※市町村記入欄
--	---------